平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究(Graduation Thesis)			授業コード	C109916
担当教員名	西村 謙司			科目ナンバリングコード	L41206
配当学年	4	開講期	前期		
必修・選択区分	■建築学科 必修	単位数	6		
履修上の注意または履修条件	指導教員の教育的指示に従うこと。				
受講心得	大学での学習の集大成として行う「研究」です。研究活動を通して、人生の節目となる有意義な作品や研究成果を期待しています。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	適宜、図書を紹介しますが、研究に有益な図書を見出す能力を育成することも卒業研究の課題の一つです。				
関連科目	各自の研究課題に関連する総ての科目				

授業の目的	卒業研究は、大学4年間の集大成です。卒業研究では、自主的な取り組みはもちろんのことですが、能動的に問題意識をもち、発想し、それを発展させ、調査方法を発案し、調査し、調査結果を分析し、さらに分析結果から論理を構築し、成果としてまとめ上げ、第三者に対してわかりやすく発表するという、総合的な能力が問われます。 これまでに受講したすべての講義や実習を基礎とし、各自がもっとも興味を持つ分野を研究している教員を指導教員として選び、その指導のもとで卒業論文または卒業設計を完成させます。 指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げて提出し、審査を受けます。
授業の概要	指導内容は教員によって異なりますが、一般的に、はじめに卒業研究の概要の説明を受け、各自の取り組むテーマを設定し、設定したテーマについて予備研究を行い、指導教員のもとで、調査、観測、実験、解析、設計などの研究を自主的に行います。データの整理、検討を行い、あるいは設計図書をまとめ、卒業論文または卒業設計を期限までに仕上げて提出し、審査を受けます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : 研究テーマの探求 1 卒業研究として取り組んでいく内容について協議します。	
第 2 週 : 研究テーマの探求 2 卒業研究として取り組んでいく内容について協議します。	
第 3 週 : 研究テーマの探求 3 卒業研究として取り組んでいく内容について協議します。	
第 4 週 : 研究課題の選定	

各自の取り組み姿勢とともに課題が選定されます。	
第 5 週 ： 既往研究の調査　1 選定された研究課題に基づき、既往研究の調査を行います。	
第 6 週 ： 既往研究の調査　2 選定された研究課題に基づき、既往研究の調査を行います。	
第 7 週 ： 研究計画の策定 研究を進めていくための計画を立てます。	
第 8 週 ： 研究対象の選定　1 研究を行うにあたって、個別の具体的な研究対象を選定します。	
第 9 週 ： 研究対象の選定　2 研究を行うにあたって、個別の具体的な研究対象を選定します。	
第10週： 研究方法の決定 研究対象を調査分析する方法を決めます。	
第11週： 研究調査　1 研究調査を行います。	
第15週： 研究調査　2 研究調査を行います。	
第18週： 調査結果の分析 調査結果をまとめます。	
第20週： 論文の作成 研究内容を論文にまとめていきます。	
第29週： 研究内容の発表 研究内容を発表します。	
第30週： 研究の反省 研究活動を振り返り問題点を見出します。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	建築設計に関わっていく際に必要な社会的関心・意欲・態度を修得

【知識・理解】	建築設計に関する総合的知識の習得と応用
【技能・表現・コミュニケーション】	設計された建築物の内容をさまざまな表現媒体で適切に表現
【思考・判断・創造】	建築を創作することの意味をよく考えて設計計画にとりくむことができる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点		
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	20点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	学位取得にふさわしい内容とする。
発表・その他（無形成果）	学位取得にふさわしい発表とする。